

公同礼拝

2025年1月26日(日) 午前10時30分

司式 牧師 姜 俔米

奏楽 市橋佳子

前 奏

招 詞 イザヤ書 65章17, 18節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

イザヤ書 52章7～10節(旧1148)

使徒言行録 13章1～12節(新237)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 6

説 教 「伝道旅行に送り出される」

牧師 姜 俔米

祈 禱

讃 美 歌 90

献 金

頌 栄 543

祝 禱

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

1月の祈り

新しい年を迎え、主の恩寵と自分の歩みを回顧し、悔い改めと赦しに生きることができるように。

教会の全ての働きが、主の導きによって導かれ、整えられ、伝道が力づけられるように。

戦火や被災地にある人々と教会、伝道者・信徒が支えられ、教会の回復が支えられるように。争いの地に平和がもたらされるように。

高齢で、また、体調などにより礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

今日の祈り

生きる時の悩み、寂しさ、衰えにあっても日々新たにされる恵みを数え、見えないものに目を注ぐことができるように。

教会の歩みが主の導きにより、整えられ、一つとされて新たな年度の歩みに向かうことができるように。

寒さ厳しい中であって、病を負い、弱っている人々が守られ、力づけられるように。

「伝道旅行に送り出される」 姜 俔米

使徒言行録 13章1～12節

「パウロとも呼ばれていたサウロ」の活動が前面に出て来るのは、ここから、「伝道旅行」が始まるからです。聖書の後ろの付録7、8、9は、パウロの宣教旅行と、ローマへと護送された旅についての地図です。13章以下にはこれらの地図に関わることが語られていて、本日のところには

第一回伝道旅行への出発と、最初の伝道地キプロスでの活動が語られています。

私たちは、「パウロの伝道(宣教)旅行」という言い方をしますけれども、そう言うことは必ずしも正確ではないということです。

大事なことは、この伝道旅行は、個人の決意や意志によって始まったものではなく、アンティオキア教会の礼拝と祈りの中で、聖霊によって示されたものであり、そのために二人が任命され、遣わされて開始されたものだということです。そのことが、2、3節に示されています。

礼拝と祈りに生きる教会に、聖霊の示しが与えられます。聖霊の示しはバルナバやサウロ個人に与えられたものではありません。彼らが「伝道旅行に行きたい」という志を与えられたのではなくて、聖霊が二人を指名したのです。

つまり、伝道旅行が行われることも、またそのために遣わされるのも、全ては聖霊が、神様が教会にお命じになったことだったのです。アンティオキア教会はこの聖霊の示しを受けて、3節にあるように、それに従ったということです。

バルナバとサウロはここで、アンティオキア教会によって立てられ、伝道へ派遣されました。アンティオキア教会は、礼拝と祈りの中で示された神様のみ心を受け止めて、それを教会の業として位置づけたのです。こうして、この伝道旅行は、アンティオキア教会の働きとなりました。

実際にそれをしていくのはバルナバとサウロであっても、その働きはアンティオキア教会によって立てられ、派遣されてしていることなのです。ですからこれは、アンティオキア教会の外地伝道の業なのです。